

サービス概要			データ情報							データ利用ポリシー								
サービスID	サービス名	概要	データ名	データ種別	データフォーマット	データ期間	データサイズ	時間・空間分解能	単位	データ提供元	データ提供元 利用規約	二次利用 (再配布を含む 目的外的利用)	商用利用		派生データの 作成	派生データの 配布	成果公表・ 引用方法	その他
													DCCS 利用期間中	DCCS 利用終了後				
SW001	宇宙天気予報インジケータデータ	宇宙天気予報のWebサイトで公開されている、以下の24時間予測値の数値データを取得できます。(1)太陽フレア規模、(2)プロトン現象規模、(3)地磁気擾乱規模、(4)放射線帯電子規模、(5)デリンジャー現象発生確率、(6)電離圏嵐規模、(7)スボラディックE層の発生有無。各現象のレベル分けの詳細は、Webサイト内の解説をご覧ください。1日1回16時頃に更新します。	宇宙天気情報インジケータ: (1)太陽フレア規模 (2)プロトン現象規模 (3)地磁気擾乱規模 (4)放射線帯電子規模 (5)デリンジャー現象発生確率 (6)電離圏嵐規模 (7)スボラディックE層の発生有無	数値データ	JSONファイル	準リアルタイム	3 kB/回	時間分解能：24時間	---	NICT	ウェブサイト利用規約 https://swc.nict.go.jp/notice.html	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。		
SW002	電離圏全電子数データ	国土地理院のGNSS受信機網(GEONET)データから求めた、日本上空の電離圏全電子数(TEC: Total Electron Content)の2次元数値データや画像を取得できます。衛星ごとのグリッド(地図上の場所)に入れたデータで、グリッドごとに衛星のTEC値の平均を計算しています。1~1.5時間遅れの準リアルタイムデータを1時間ごとに更新します。	日本上空の電離圏全電子数(TEC)の2次元数値データや画像	数値データ・画像	バイナリー形式ファイル。独自フォーマット、JPEG	準リアルタイム	5 MB/回、 AGRID (absolute TEC grid) 30秒値	時間分解能：10分 (APIは1時間更新) Latency: 1~1.5時間 空間分解能：15km (0.15度)	TECU [10 ¹⁶ /m ²]	提供：NICT、(電子航法研究所, 京都大学, 名古屋大学) <u>観測元データ</u> ・GNSS受信機網(GEONET)データ：国土地理院	<u>ウェブサイト利用規約</u> https://aer-nc.web.nict.go.jp/GPS/OR_GEONET/ https://aer-nc.web.nict.go.jp/GPS/DRAWING-TEC/	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。		
SW003	電離圏全電子数擾乱指数データ	国土地理院のGNSS受信機網(GEONET)データから求めた、日本上空の電離圏全電子数擾乱指数(ROTI: The Rate of TEC change index)の2次元数値データや画像を取得できます。衛星ごとのグリッド(地図上の場所)に入れたデータで、グリッドごとに衛星のROTI値の平均を計算しています。1~1.5時間遅れの準リアルタイムデータを1時間ごとに更新します。	日本上空の電離圏全電子数擾乱指数ROTIの2次元数値データや画像	数値データ・画像	バイナリー形式ファイル。独自フォーマット、JPEG	準リアルタイム	1 MB/回、 RGRID、30秒値	時間分解能：10分 (APIは1時間更新) Latency: 1~1.5時間 空間分解能：15km (0.15度)	[TECU/min]	提供：NICT、(電子航法研究所, 京都大学, 名古屋大学) <u>観測元データ</u> ・GNSS受信機網(GEONET)データ：国土地理院	<u>ウェブサイト利用規約</u> https://aer-nc.web.nict.go.jp/GPS/QR_GEONET/ https://aer-nc.web.nict.go.jp/GPS/DRAWING-TEC/	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。		
SW004	オーロラ予測マップデータ	磁気圏シミュレーションにより計算した電離圏上部の物理量(電流密度・プラズマ密度・温度等)を元に計算したオーロラ予測マップ(ウェブサイトAurora Alert内)の2次元数値データと画像を取得できます。diffuseオーロラとdiscreteオーロラの緯度経度毎分布を計算し、足し合わせた結果を出力します。5分ごとに約1時間先までの予報を更新します(APIは1時間ごとに更新します)。	オーロラ予測マップ(ウェブサイトAurora Alert内)の2次元数値データと画像	数値データ・画像	ASCIIファイル、JPEG	準リアルタイム	12 MB/回	時間分解能：5分 (APIは1時間更新) Latency: 約1時間 空間分解能：約111km(1度) (API提供は約555km(5度))	---	提供：NICT <u>観測元データ</u> ・リアルタイム太陽風データ：NASA, NOAA	<u>ウェブサイト利用規約</u> https://aurora-alert.nict.go.jp/	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載する。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。		
SW005	静止軌道プラズマ物理パラメータ	磁気圏シミュレーションと衛星モデルを元に計算した衛星表面帯電リスク評価システムの数値データ(6物理量×静止軌道上位置1次元×太陽側面/陰側面)を取得できます。5分ごとに約1時間先までの予報を更新します(APIは1時間ごとに更新します)。	静止軌道の宇宙プラズマ環境: (1)プラズマ圧力 (2)プラズマ密度 (3)プラズマ温度[keV] (4)衛星電位・表面電位最大値[V] (5)衛星電位・フレーム電位[V] (6)衛星電位・乖離電位[V] ×日照/日陰	数値データ	ASCIIファイル	準リアルタイム	2.3 MB/回	時間分解能：5分 (APIは1時間更新) Latency: 約1時間 空間分解能：緯度経度約111km(1度) (API提供は約555km(5度))	プラズマ圧力[-], プラズマ密度 [³ /m ³], プラズマ温度 [keV], 各種電位[V]	提供：NICT、(大阪公立大学, 名古屋大学, JAXA) <u>観測元データ</u> ・リアルタイム太陽風データ：NASA, NOAA	<u>ウェブサイト利用規約</u> https://secures.nict.go.jp/go/	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載し、右記の論文を引用すること。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。	論文引用： [1] T. Nagatsuma, A. Nakamizo, Y. Kubota, M. Nakamura, K. Koga, Y. Miyoshi, & H. Matsumoto, EPS, 2021, 73:26, DOI: 10.1186/s40623-021-01355-x [2] M. Nakamura, A. Yamamoto, A. Nakamizo, & T. Nagatsuma, in Proc. Spacecraft Charging Tec Conf. (SCTC), 2022 [3] A. Nakamizo, M. Nakamura, T. Nagatsuma, Y. Kubota, K. Koga, H. Matsumoto, and Y. Miyoshi, 2025,	
SW006	太陽フレア発生確率AI予測	太陽フレアAI予報モデルDeep Flare Netによる確率予報(領域数×フレア規模3種類)の24時間予報の数値データを取得できます。1時間前の太陽観測データ(SDO衛星/NASA等)を用いて予測し、3時間ごとに更新します。	太陽フレア24時間確率予報： (1)Xクラスフレア, (2)≧Mクラスフレア, (3)≧Cクラスフレア	数値データ	CSV (ASCII)ファイル	準リアルタイム	3 kB/回	時間分解能: 3時間 Latency: 1時間	[%]	提供：NICT <u>観測元データ</u> ・GOES衛星：NOAA ・SDO衛星：NASA	<u>データ利用規約</u> https://defn.nict.go.jp/model.html https://wdc-cloud.nict.go.jp/ONQ/wdc/solarflare/index_1.html	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載し、右記の論文を引用すること。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。	論文引用： [1] N. Nishizuka, et al. 2017, Astrophys. J., 835, 156, DOI: 10.3847/1538-4357/835/2/156 [2] N. Nishizuka, et al. 2018, Astrophys. J., 858, 113, DOI: 10.3847/1538-4357/aab9a7	
SW007	太陽放射線被ばく線量推定マップ	航空機被ばく警報システムWASAVIESで計算した全世界被ばく線量率(太陽放射線被ばく推定マップ)の3次元数値データ(高度0~100 km)を取得できます。太陽静穏時は1日1回、航空機被ばくの可能性が生じる太陽フレア(GLE)発生時(GLE発生モード時)には1時間ごとにAPIデータを更新します。	全世界被ばく線量率(太陽放射線被ばく推定マップ)の3次元数値データ、ICAOマップの画像	数値データ・画像	3次元JavaScript, PNG	準リアルタイム	58 kB/回	時間分解能：1日 (GLEモード時は5分間隔、API提供は1時間間隔) (APIは1時間更新) Latency: 10分前後 空間分解能：緯度10度(1110km), 経度15度(1300-1700km)	[μ SV/h]	提供：NICT、(日本原子力研究開発機構, 国立極地研, 広島大学, 茨城工業高専, 名古屋大学) <u>観測元データ</u> ・GOES衛星：NOAA ・Kp指数：The Helmholtz Center Potsdam ・中性子モニター：アテネ大学, ロシア科学アカデミー, デラウェア大学, ベルン大学, ユングフラウヨッホ・ゴルナーグラーツ国際高山研究所財団, フランス極地研究所, パリ天文台, オウル大学	<u>ウェブサイト利用規約</u> https://wasavies.nict.go.jp/policy.html https://wasavies.nict.go.jp/document.html	不可	非商用	有償にて利用可能にすることを検討中	可能。但し、研究開発目的での利用に限定。商用利用禁止を遵守。	NICT総合テストベッド「DCCS」が提供する宇宙天気情報データを利用した旨を記載し、右記の論文を引用すること。報道発表等を行う場合には、事前に当機構に通知する。	論文引用： [1] R. Kataoka, T. Sato, Y. Kubo, D. Shiota, T. Kuwabara, S. Yashiro, H. Yasuda, Space Weather, 2014, DOI: 10.1002/2014SW001053 [2] T. Sato, R. Kataoka, D. Shiota, Y. Kubo, M. Ishii, H. Yasuda, S. Miyake, I. C. Park, & Y. Miyoshi, Space Weather, 2018, DOI: 10.1029/2018SW001873 [3] R. Kataoka, T. Sato, S. Miyake, D. Shiota, Y. Kubo, Space Weather, 2018, DOI: 10.1029/2018SW001874	